

感染症予防ガイドライン 水泳競技会

【アーティスティックスイミング競技】

2023年5月8日から新型コロナウイルス感染症法上の位置づけが「5類」に移行することを受けて東京都水泳協会の水泳競技会ガイドラインを改定します。法的に感染防止対策が緩和されることとなりますが、新型コロナウイルス感染症が撲滅されたわけではありません。基本的な感染対策は継続しながら競技会を運営する必要があるという理解の上で、引き続き感染防止にご協力をお願いいたします。

【選手・引率者の皆さんに守っていただきたい事項】

1. 大会当日

- ① 体調不良者は入場（来場）を見合わせる。
- ② 指定された入場時間を厳守する。（指定時間より前には入場できない）
- ③ 入場時は自身のADカードを提示し、検温を受けること。
- ④ 入場時検温にて発熱が認められた場合は、大会救護担当者の指示に従う。
- ⑤ 入場前に体調不良となった場合は、会場内に入場せず帰宅するか、判断に迷う場合は入場口の大会スタッフに申告する。
- ⑥ 会場内で体調不良となった場合は、近くの大会スタッフに申告し、移動せずにその場で指示を待つ。携帯電話等で連絡可能な場合は、その場で大会実行委員会に連絡し指示に従う。（連絡方法は実施要項等で指定する）

【体調不良時の対応について】

- (1) 会場内で体調不良となった場合は、なるべく移動を避けて近くの大会スタッフに声を掛けてください。また、直接救護室に行かないでください。
- (2) 引率責任者は常に所属選手の体調に注意し、体調不良者を発見した場合は、速やかに追加要項に記載の電話番号に連絡し指示に従ってください。

- ⑦ こまめな手洗いと手指消毒を推奨する。
- ⑧ マスク着用は個人の判断に委ねる。ただし、人が密集する場所ではマスクの着用を推奨する。
- ⑨ マスクを外した時は、専用のケースまたはポケット等に収納すること。咳やくしゃみが出る場合は、口を「肘で覆う」または「タオルや衣類で覆う」など咳エチケットを徹底すること。
- ⑩ 不要になったマスクは、ビニール袋等に収納して持ち帰ること。（会場内では捨てない）
- ⑪ 練習（ウォームアップ・クールダウン）は、実施要項等で指定された時間および利用方法を厳守すること。

【練習について】

- (1) 追加要項または当日の競技役員の指示に従ってください。
- (2) 水中では、会話を控え可能な限り他者との間隔を保ってください。
- (3) 監督・コーチが声を出して指導する場合は、マスクを着用してください。

- ⑫ 控え場所は主催者が指定するエリアとする。
- ⑬ ごみは必ず持ち帰ること。

⑭ 飲食する場合は以下を厳守すること。

- (1) 集団で同時の飲食はできるだけ避けること。複数人が同時に飲食する場合は十分な対人距離を確保し、対面しないこと。
- (2) 食事中は会話をしないこと。
- (3) 飲食物の共有・分け合いは避けること。
- (4) 要項等で別途指定がある場合は、それに従うこと。

⑮ 招集は大会実施要項で指定された集合方法に従うこと。

⑯ ウォーミングアップまたは競技出場の際は、衣類・履物を収納するための袋を必ず持参し、自己の荷物はすべて持参した袋に入れて管理すること。

【荷物の管理について】

- (1) ウォーミングアップまたは競技出場の際、衣類やタオルの「むきだし」での放置は感染のリスクを伴います。必ず袋等に収納してください。
- (2) 使用する袋には、クラブ名・氏名を大きく書いてください。リュックサックやナップサック類、ビニール袋等、どのような種類でも構いませんが、可能な限りコンパクトなものを使用してください。なお、競技規則に定める商業ロゴマーク等の取り扱い規定に違反しないように注意してください。

⑰ 声を出して応援する場合は、マスクを着用すること。

⑱ 水泳用具・ストレッチマット等は、専用の物を用意し共用しないこと。

⑲ 競技会主催者・施設管理者が定めたその他の措置・指示に従うこと。

2020年8月1日 初版
2020年11月20日 一部改訂
2021年2月15日 一部改訂
2021年9月10日 一部改訂
2022年2月24日 一部改訂
2022年4月25日 一部改訂
2022年12月1日 一部改訂
2023年3月13日 一部改訂

公益財団法人東京都水泳協会医科学委員会監修

【公益財団法人東京都水泳協会】

〒150-0012

東京都渋谷区広尾1-3-18 広尾オフィスビル8F

電話 03-5422-6147 (平日10時～17時)

e-mail oc@tokyo-swim.org